

令和 7 年度
中津川市総合計画推進委員会提言書

令和 7 年 1 1 月 6 日

中津川市総合計画推進委員会

目 次

1. 総論	・ ・ ・ ・ P. 3
2. 評価・検証概要	・ ・ ・ ・ P. 4
(1) 委員会の目的	・ ・ ・ ・ P. 4
(2) 委員会での検証内容	・ ・ ・ ・ P. 4
(3) 委員会開催経過	・ ・ ・ ・ P. 5
(4) 委員名簿	・ ・ ・ ・ P. 5
3. 第2回総合計画推進委員会 評価・検証結果	
I. 事業評価	
(1) 施策評価の概要	・ ・ ・ ・ P. 6
(2) 令和6年度評価対象事業全体の目標達成状況	・ ・ ・ ・ P. 6
(3) 令和6年度目標に対する達成率の評価がD以下の 指標が2つ以上ある施策について	・ ・ P. 7、8、9、10
(4) 主な意見	・ ・ ・ ・ P. 10
II. 事業検証	
(1) 評価対象事業	・ ・ ・ ・ P. 11
(2) 総合評価	・ ・ ・ ・ P. 11
4. 資料	
①令和7年度事業計画書・事業評価書「商業振興事業」	
②令和7年度事業計画書・事業評価書「観光推進事業」	
③令和7年度事業計画書・事業評価書「都市計画総務事業」	

1 総論

令和7年度中津川市総合計画推進委員会提言書のとりまとめにあたり、委員の皆様には多角的かつ建設的なご意見を賜り、また市職員の皆様には丁寧な資料提供と迅速な対応をいただき、心より感謝申し上げます。本年度は「中心市街地活性化」をテーマに、都市計画・商業振興・観光推進の3事業を分野横断的に検証し、現地視察を通じてまちの魅力と課題を再確認する機会となりました。

第2回委員会では、「中心市街地にはとても魅力的なものがたくさんあり、希望的な感想を持った」との発言がありました。これは、委員一人ひとりが現地で感じたまちの可能性を象徴する言葉であり、私自身も委員長として大変心強く感じました。一方で、「市民ですら知らないことが多く、情報発信が足りていない」との指摘もあり、今後のまちづくりにおいて情報の共有と発信力の強化が重要であることを改めて認識しました。

また、委員からは「夜間に楽しめる場所が少ない」「外国人観光客が夕食を取る場所に困っている」といった具体的な課題も挙げられました。これらの意見は、観光推進における受け入れ体制の整備や、多言語対応の必要性、さらには中心市街地の夜間のにぎわい創出に向けた施策の検討を促すものであり、今後の施策立案において重要な視点となります。

来年度に向けては、こうした委員の声を踏まえ、市民と行政が協働しながら、まちの魅力を広く伝え、にぎわいの創出と持続可能な発展に繋げていく取り組みが進展していくことを期待しております。

本委員会が果たすべき役割は、単なる評価にとどまらず、未来のまちづくりに向けた提言を通じて、市民の暮らしをより豊かにすることにあります。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中津川市総合計画推進委員会
委員長 須栗 大

2 評価・検証概要

(1) 委員会の目的

- 「中津川市総合計画後期事業実施計画（中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」に位置付けた事業の進捗や課題等を評価・検証することで、次の効果を生み出し、事業の推進を図る。
 - ・市の施策や事業を評価し、「なかなか進んでいない」「効果が上がっていない」などの問題点を洗い出すことで、その原因を改善し、進捗のスピードアップを図り、効率よく事業効果をあげる。
 - ・事業を横断して評価することで、部を超えた事業の横のつながりを作り出し、連携により事業に相乗効果を生み出す。
 - ・評価結果を広く市民へ周知し情報を共有することで、市民と行政の協働意識を高め、共にまちづくりを推進する。

(2) 委員会での評価・検証内容

- 令和6年度に実施した後期事業実施計画に掲げる事業について、評価を行う。
- 後期事業実施計画に掲げる事業のうち、「中心市街地活性化」をテーマとした次の項目について分野横断的に検証を行う。

目指すまちづくり	予算事業名	担当課
I－② 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり	都市計画総務事業	都市計画課
I－② 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり	商業振興事業	商業課
I－③ 人の流れを地域にみちびくまちづくり	観光推進事業	観光課

(3) 委員会開催経過

	日にち	議事概要
第1回	令和7年 8月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度総合計画推進委員会について ・令和6年度事業検証 ・令和7年度評価対象事業について
第2回	令和7年 9月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度事業評価
第3回	令和7年 11月6日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・後期事業実施計画評価・検証結果のとりまとめについて ・令和7年度中津川市総合計画推進委員会提言書の採択

(4) 委員名簿

(令和7年11月6日現在)

【順不同・敬称略】

	氏 名	分 野	備 考
委 員 長	須栗 大	教育	中京学院大学 教授
副委員長	瀬瀬 康雄	住民	元県立学校校長
委 員	成瀬 博明	産業	中津川商工会議所 専務理事
委 員	岩木 健	産業	中津川北商工会 事務局長
委 員	岩田 修	官公庁	中津川公共職業安定所 所長
委 員	田口 稔	教育	岐阜県立中津川工業高等学校 教頭
委 員	佐藤 祐司	金融	十六銀行中津川支店 支店長
委 員	堀尾 憲慈	労働団体	連合岐阜東濃地域協議会 事務局長
委 員	土屋 厚子	住民	農業委員
委 員	小木曾 淑子	住民	こうじキッチンこぎちゃん(自営業)
委 員	小島 未来	住民	子育てサークルはっぴーたん

3 評価・検証結果

I. 事業評価

(1) 令和6年度施策評価の概要

- 事業実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日
- 施策数
 - ・重点施策：20施策
 - ・基本施策：36施策
- 施策指標数：125指標（内重複16指標）
- 事業数：152事業
- 評価方法：
 - ・重点施策、基本施策に定める事業を定量的に評価する
 - ・令和6年度目標に対する達成率の評価がD以下の指標が2つ以上ある施策について評価・分析を行う。

(2) 令和6年度評価対象事業全体の目標達成状況

中津川市後期事業実施計画における各施策の指標の達成状況のまとめは下表のとおり。令和6年度における全指標の平均目標達成率は92.2%、令和8年度目標に対する令和6年度における全指標の平均目標達成率は49.2%であり、一部進捗が思わしくない施策が見られ、後期事業実施計画の進捗率は若干の遅れがあるといえる。

目標達成率（実績値/目標値）	令和6年度目標に対する達成状況	計画期間全体に対する達成状況
S：120%以上	10	0
A：100%以上 120%未満	26	3
B：70%以上 100%未満	43	13
C：50%以上 70%未満	7	10
D：0%より上 50%未満	7	17
E：0%以下	11	10
評価未実施	5	56
令和6年度における全指標の平均目標達成率	92.2%	
令和8年度目標に対する令和6年度における全指標の平均目標達成率		49.2%

※125指標のうち重複16指標を除く

※令和6年度の目標の評価未実施について、主な項目は隔年のアンケート調査結果を指標としているものなどの、令和6年度は評価を行っていないもの

※令和6年度は評価されており、計画期間全体では評価未実施となっているものについては、「待機児童数」等の、最終年度での評価でなければ達成状況を評価できないもの等

(3) 令和6年度目標に対する達成率の評価がD以下の指標が2つ以上ある施策について

●一覧表

施策	指標	R3 指標実績	R6 指標目標	R6 指標実績	R6 達成率 (実績/目標)	対 R6 評価
1 学校教育	全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国比 (小学校6年生は国語と算数、中学校3年生は国語と数学)	国-5 算-5 国±0 数-3	国-2 算-2 国+1 数±0	国-6.7 算-8.4 国-0.1 数-2.5	94.0%	B
	不登校児童生徒の出現率	小学生 1.54 中学生 4.81	小学生 1.4 中学生 4.2	小学生 1.50 中学生 5.60	0.0%	E
	全国体力・運動能力調査における体力合計T得点	49.85	50	50.9	101.8%	A
	複式学級のある学校数	3	2	3	0.0%	E
2 地域医療・公立病院	地域医療の取り組みへの満足度【市民意識調査】	44	46	40	87.0%	B
	公立病院常勤医師数	54	50	41	0.0%	E
	累積欠損金比率の改善【市民病院】	93.2	86.6	91.1	31.8%	D
3 防犯	特定空家の解消率	87.5	100	80	80.0%	B
	刑法犯認知件数	202	196	275	0.0%	E
	市内特殊詐欺認知件数	4	3	9	0.0%	E

4 交通安全	交通事故死者数(24時間以内)	1	1	3	0.0%	E
	市内の交通弱者の交通事故死傷者数(歩行者・自転車利用者)	5	5	6	0.0%	E
5 林業振興	市補助制度を用いた産直住宅棟数	59	60	35	58.3%	C
	森林環境譲与税を活用した森林整備面積	44	50	9	18.0%	D
	市補助制度を用いた新規林業従事者数	4	5	1	20.0%	D
6 自然環境保全	河川環境基準(BOD)達成率	100	100	100	100.0%	A
	汚水処理人口普及率	86.3	88.4	85.9	0.0%	E
	水洗化率	87	88.5	86.5	0.0%	E
	自然環境保全活動参加者数	1070	1000	1072	107.2%	A

○分析結果

施策	分析
4 学校教育	<p>【不登校児童生徒の出現率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナをきっかけとして、不登校児は全国的に増加しており、様々な要因が考えられる。 ・不登校児童生徒数は全国的に 11 年連続で増加し、過去最多となっている。 ・R5 不登校児童生徒数：小学校 130,370 人（約 2.2%） 中学校 216,112 人（約 6.9%） ・R5 児童生徒数：小学校 5,941,733 人、中学校 3,141,132 人 <p>【複式学級のある学校数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3.3 校(山口小、川上小、高山小)→R6(山口、川上、神坂)となり、高山を解消できたが神坂が新たに複式学級となったことによる。
2 地域医療・ 公立病院	<p>【公立病院常勤医師数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師を確保できず、減少数に歯止めがかかっていない。 <p>【累積欠損金比率の改善【市民病院】】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より医業収益に対する累積欠損金(開業以来の各事業年度の赤字額)の比率は増加している。
3 防犯	<p>【刑法犯認知件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により減少したものが上昇に転じている。 <p>【市内特殊詐欺認知件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により減少したものが上昇に転じている。全国的に増加傾向にあり、それに影響されるところが大きい。
4 交通安全	<p>【交通事故死者数(24 時間以内)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により減少したものが上昇に転じていると推測される。 <p>【市内の交通弱者の交通事故死傷者数(歩行者・自転車利用者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により減少したものが上昇に転じていると推測される。
5 林業振興	<p>【森林環境譲与税を活用した森林整備面積】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元との合意形成の遅れによって、森林整備にも遅れが生じた。 <p>【市補助制度を用いた新規林業従事者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度の実績として、8 月時点で新規林業従事者数は 6 人となっている。 ・新規林業従事者は全国的に増加傾向（林野庁 HP 林業労働力の動向より）

6 自然環境保全	<p>【汚水処理人口普及率】【水洗化率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管路整備した地域について、個別訪問を行い、下水道接続率を上げるための取り組みを進めている。 ・後継者のいない高齢世帯や工事費用が出せない低所得世代において、水洗化ができておらず、目標通りの成果になっていない。
----------	---

(4) 主な意見

○上記(1)～(3)に対する主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・医師不足の中で、若手の医師を獲得するために、市として対策、サポート等、中津川市の病院で働くことのメリットがないといけない部分もあると思う。 ・医師不足への対応として、中津川市の病院で働くことでキャリアアップにつながるような仕組みを検討したらどうか。田舎の病院では手術の件数等が都会と比べ少なく、経験が積めないため、最新技術の導入など医師を育成するシステムが必要ではないか。 ・目標値に対して、達成率が100%を超える指標について、来年度以降の目標値を変えることを検討すべきではないか。 ・目標の設定の仕方を試行錯誤しながら検討していく必要があるのではないか。

Ⅱ. 事業検証

(1) 評価対象事業

○「中心市街地活性化」をテーマとし、中津川市総合計画後期事業実施計画においてに定められた次の事業について評価・検証を行った。

目指すまちづくり	予算事業名	担当課
I－② 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり	都市計画総務事業	都市計画課
I－② 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり	商業振興事業	商業課
I－③ 人の流れを地域にみちびくまちづくり	観光推進事業	観光課

(2) 総合評価

○第2回中津川市総合計画推進委員会における主な評価のまとめ

令和7年度は後期事業実施計画に掲げる事業のうち、中心市街地活性化に関連するものを中心に、分野横断的に検証を行った。

【主な意見】

- ・中心市街地の駐車場の場所が分かりにくく、市外から車で来られる方は行きたいお店に入りづらい。
- ・駐車場とお店の距離が離れている場合、市外の方は分かりにくいいため、案内看板設置などの対策を講じた方が良いのではないかな。
- ・インバウンドを受け入れる上で、多言語化は必要である。英語だけでなく、様々な言語に対応する必要がある。
- ・外国人観光客から夜ご飯を食べるところがない、夜遊ぶところがないという声がある。
- ・中心市街地内で夜楽しめる場所、催しが創出されるとまちのにぎわいにつながるのではないかな。
- ・中心市街地にはとても魅力的なものがたくさんあり、希望的な感想を持った。
- ・市民ですら知らないことが多く情報発信が足りていないことも感じた。
- ・中心市街地のキャッチコピーを作るなど工夫したPRが必要である。
- ・まち歩きツアーなどのイベントを企画すると良いのではないかな。

令和 7年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		商業振興事業			事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【商工観光部】			課・所属名		※R7年度より廃止※商工振興課	
予算科目		会計		款		項		目
		1 一般会計		7 商工費		1 商工費		1 商業振興費
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち			中区分	1 働く場所があり住み続けられるまち		
	小区分	2 商業振興			戦略施策	11-1-2 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・商業振興のために、商工会議所、北商工会、金融機関、関係団体との連携強化を図ります。・市内の約90%を占める中小企業および個人事業者の事業継続のために、円滑な金融支援を行います。・古いまち並みや歴史的資産を活用し、中津川らしさを前面に打ち出すために、空き店舗等を活用して開業する企業または個人の支援を行います。							
中長期的な目標	<ul style="list-style-type: none">・市内の商業を盛んにします。 市内商業総売上高：131,253百万円・中心市街地地区内の商業店舗を増やします。 中心市街地地区内の創業件数：10件/年・中心市街地地区内の空き店舗を減らします。 中心市街地地区内の空き店舗数：15件							
中長期的な効果	<ul style="list-style-type: none">・中小企業および小規模事業者への総合的な支援が図られ、安定した事業継続がなされます。・雇用機会の創出や新しい商業コンテンツがもたらされ、地域の活性化につながります。							
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)	
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源		
	令和 5年度	281,201	6,800	0	204,452	69,949	276,813	
	令和 6年度	254,209	6,800	0	200,886	46,523	239,567	
	令和 7年度	0	0	0	0	0	0	
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0	

2. 指標

指標名	空き店舗、創業・第2創業支援補助金交付件数		指標説明	空き店舗、創業・第2創業支援補助金交付件数		単位 件(累計)
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	20	40		50	60	
実績	38	36				
実績の根拠						

指標名	事業承継支援制度利用件数		指標説明	事業承継支援制度利用件数		単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	制度研究	制度研究		制度研究	1件	
実績	制度研究	制度研究				
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

指標名			指標説明			単位
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標						
実績						
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 7年度事業の内容

- ＜商工団体等支援事業＞ 22,350千円
 - ・商工団体への事業補助金（中津川商工会議所、中津川北商工会）
- ＜中小企業支援対策事業＞ 209,321千円
 - ・中小企業小口融資制度信用保証料および利子補給 50件
 - ・小規模事業者経営改善資金融資および創業支援融資の利子補給 40件
 - ・協調融資原資
- ＜創業支援対策事業＞10,000千円
 - ・新規創業に対する支援 23件
 - ・中心市街地で店舗を構えて事業を始めようとする事業者への支援 5件

令和 7年度事業の評価結果

- ・創業支援補助金について、良い制度であるため、受け身ではなく、積極的に周知して広めていく必要がある。
- ・地域特有のものを活用すれば、補助金額等を上乘せするというような制度を構築することで、経済の循環をさらに高めるような仕組みができるのではないか。
- ・事業承継について、支援制度の使い方や担当部署などが分からない方の負担感を拭うような商業、農業などの業種を越えた承継のワンストップ窓口設置などの工夫が必要である。

令和 7年度事業の改善事項等

令和 7年度事業の実績

令和 7年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		観光推進事業				事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【商工観光部】			課・所属名		観光課		
予算科目		会計		款		項		目	
		1 一般会計		7 商工費		1 商工費		3 観光費	
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち			中区分	4 市外との交流が盛んで、訪れたいまち			
	小区分	1 観光振興			戦略施策	11-1-3 人の流れを地域にみちびくまちづくり			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・リニア開業を見据え観光資源の発掘、磨き上げを行うとともに、関係団体等と連携し受入体制の強化とおもてなし力の向上および観光振興による地域活性化を加速させるため、市全体での戦略的な観光を推進します。・首都圏等をはじめ広くプロモーション活動を展開し、知名度向上および新たなターゲット層の開拓を行い一層の誘客を図ります。								
中長期的な目標	<ul style="list-style-type: none">・観光客の増加を図ります。 観光入込客数：555万人/年 ※入込客数は、「県観光入込客統計調査（暦年集計）」に基づく。								
中長期的な効果	<ul style="list-style-type: none">・観光入込客数の増加により地域の活性化が図られます。								
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)		
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源			
	令和 5年度	72,646	20,427	0	500	51,719	65,319		
	令和 6年度	83,379	25,620	0	0	57,759	58,671		
	令和 7年度	113,106	18,461	0	0	94,645	65,716		
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0		

2. 指標

指標名	観光案内件数		指標説明	観光案内件数		単位 件
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	4600	4750		4900	5050	
実績	10785	16685				
実績の根拠	観光案内所業務委託実績報告					

指標名	Instagram投稿数		指標説明	Instagram投稿数		単位 件
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	75	80		85	90	
実績	43	191				
実績の根拠						

指標名	HP閲覧数		指標説明	HP閲覧数		単位 千回
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	310	320		330	340	
実績	452	455				
実績の根拠						

指標名	ボランティアガイド養成講座受講者		指標説明	ボランティアガイド養成講座受講者		単位 人
年度	令和 5年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 8年度	
目標	10	10		10	10	
実績	2	0				
実績の根拠						

3. 事業評価

令和 7年度事業の内容

＜観光資源の魅力向上と情報発信＞ 6,292千円

- ・中津川観光ガイドマップ作成 30,000部（展開A2版カラー刷）
- ・総合パンフレット「ぶらり、中津川。」作成 40,000部（A4カラー刷20頁）
- ・中山道周遊促進パンフレット「中山道宿場めぐり」作成 50,000部（A4カラー刷12頁）
- ・市内周遊・滞在促進パンフレット（グルメガイド）の作成 20,000部（A5カラー刷34頁）

＜受入体制の強化＞ 19,771千円

- ・中津川駅前及び馬籠宿での観光案内業務委託（窓口・電話等での問い合わせ対応及び情報発信）
- ・苗木遠山史料館を拠点とした市内周遊観光案内業務委託
- ・観光デジタルサイネージ運用業務委託（中津川駅前観光案内所・馬籠宿B A S E）
- ・付知峡オーバーツリーズ対策事業（交通誘導員の配置）
- ・通訳案内士向けインバウンド対応研修の実施

＜各種団体への支援＞ 11団体 69,767千円

- ・中津川市観光局補助金
- ・なかつがわ御神木祭実行委員会補助金
- ・苗木城築城500年事業実行委員会補助金
- ・観光協会や観光団体等が実施する事業への補助金及び交付金

令和 7年度事業の評価結果

- ・神坂スマートインターチェンジの開通に伴う人の流れ等の影響について調査を行い、より効果的な施策の検討が必要ではないか。
- ・インバウンドを受け入れ強化のためのガイドマップ等の多言語化が必要ではないか。特に食に関しては重要なコンテンツであるため、多言語化による情報発信をしていくべきである。
- ・中津川市は夜の楽しみが少ないと感じる。苗木城築城500周年で夜を楽しむイベントを開催するなどしてはどうか。
- ・ボランティアガイド養成講座受講者数が0となっており、心配である。おもしろい居酒屋ガイドなど新しい視点に立ったのがあると良いのではないか。また、知識、魅力の伝え方などのガイドスキルを新しい世代に伝え、後に残していくことも重要である。

令和 7年度事業の改善事項等

令和 7年度事業の実績

令和 7年度事業計画書・事業評価書

1. 事業概要

事業名		都市計画総務事業				事業期間		令和 5年度から 令和 8年度まで	
部・局名		■【リニア都市政策部】			課・所属名		都市計画課		
予算科目		会計		款		項		目	
		1 一般会計		8 土木費		4 都市計画費		1 都市計画総務費	
施策体系	大区分	3 活気あふれるまち			中区分	2 便利に暮らせるまち			
	小区分	3 住宅の整備			戦略施策	11-1-2 中心市街地のにぎわいをつくるまちづくり			
事業の概要		・リニア中央新幹線岐阜県駅の設置や人口減少社会など、中津川市を取り巻く環境が大きく変化していることから、これらに的確に対応し持続可能な都市構造とするため、都市計画による秩序あるまちづくりを行います。							
中長期的な目標		・リニア開業や人口減少社会に対応した、持続可能な土地利用を実現します。 ・中心市街地の魅力を向上させる効果的な活動を行います。							
中長期的な効果		・無秩序な開発等の抑制と持続可能な民間開発の誘導、中心市街地の魅力向上等により、将来に向けたまちづくりが進みます。							
事業費	年度区分	予算額(千円)	財源内訳(千円)				決算額(千円)		
			国・県補助金	地方債	その他	一般財源			
	令和 5年度	8,746	0	0	0	8,746	8,456		
	令和 6年度	45,575	0	0	107	45,468	977		
	令和 7年度	117,156	51,730	0	107	65,319	740		
	令和 8年度	0	0	0	0	0	0		

2. 指標

指標名	社会実験（イベント）開催回数・実装したプロジェクト数		指標説明	社会実験（イベント）開催回数・実装したプロジェクト数	単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標	3回	-	-	-	
実績	5回	-			
実績の根拠					

指標名	補助件数、住宅団地開発区画数		指標説明	住宅団地開発（面積1,000㎡以上）における狭小（200㎡未満、居住誘導区域内については160㎡未満）区画数	単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標	1件 0区画	1件 0区画	1件 0区画	1件 0区画	
実績	0件	0件			
実績の根拠					

指標名			指標説明		単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標					
実績					
実績の根拠					

指標名			指標説明		単位
年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
目標					
実績					
実績の根拠					

3. 事業評価

<p>令和 7年度事業の内容</p> <p><都市計画基本図更新業務>（新規） 91,109千円</p> <ul style="list-style-type: none">・公開型・統合型G I Sの構築に合わせて市内全域の数値地形図（都市計画基本図）を更新 <p><都市計画関連業務> 11,125千円</p> <ul style="list-style-type: none">・R6年度に実施した都市構造調査解析の結果を踏まえ、次期都市計画マスタープランの策定作業に着手 <p><中心市街地まちづくりアクションプラン掲載事業> 12,350千円</p> <ul style="list-style-type: none">・駅前広場や都市緑地公園など公共空間の活用を推進（利活用支援や高校生との連携企画の実施）・国の新たな地方創生交付金を活用した中心市街地のエリア価値向上に向けた官民連携まちづくりの推進（民間プレイヤー発掘、コンテンツ造成）
<p>令和 7年度事業の評価結果</p> <ul style="list-style-type: none">・都市空間を活用したイベントについて、市民に対してもっとPRをしたほうがよいのではないか。・リニア中央新幹線を降りた後、リニア岐阜県駅からどのように人の流れを中心市街地に導くかを検討する必要がある。
<p>令和 7年度事業の改善事項等</p>
<p>令和 7年度事業の実績</p>